

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない 0	理念の共有を図るため玄関や談話室に掲示し、誰でも見られるようにし、タイムレコーダー付近に掲示して出勤時と退勤時に確認できるようにして共有を図っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 2 C. あまりできていない 12 D. ほとんどできていない 0	地域内で開催される文化祭への作品出展や見学を行っている。地域の職員として回覧板を回している。	コロナ禍の影響を受け、近隣との交流は難しい状態が続いているが、自治会に加入し、回覧板で地域の情報を熱知している。地区の文化祭に参加し、実行員会にも加わり、入居者の作品も展示されている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見サービス向上に活かしている	A. 十分にできている 4 B. ほぼできている 9 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	2カ月に1回の頻度で開催している。委員には夜間想定した避難訓練にも参加していただき、ご意見等をお聞きしている。今年度は外部評価も行っていただいている。	2カ月に1回の頻度で開催されており、夜間想定した避難訓練にも参加したりして、毎回意見等を出している。今年度は外部評価も行っている。		
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない 8 D. ほとんどできていない 0	担当者に運営推進会議に参加していただき、入居者の生活の様子を報告し、サービスへの取り組み方などへの助言をいただいている。また、各種手続きの仕方などの指導をいただいたり、市の広報を入居者用に毎月届けていただいている。	市役所職員が、運営推進会議に参加して助言指導等を行っている。役所から広報等が届き情報を得たり、メール等でも情報が届き活用している。介護保険制度等でわからない時は随時市に照会を行い指導を得ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている 9 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない 0 D. ほとんどできていない 0	身体拘束は行っていない。法人として25年10月1日「身体拘束・虐待防止宣言」を行い、事業所内に掲示。30年3月1日には身体拘束・高齢者虐待防止指針を定め3カ月に1回身体拘束・虐待防止委員会が中心となり、チェックシートを活用しながら取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	⑤. 充分にできている 9 B. ほほできている 6 C. あまりできていない 0 D. ほとんどできていない 0	虐待は行っていない。法人として25年10月1日「身体拘束・虐待廃止宣言」を行い、事業所内に掲示。30年3月1日には身体拘束・高齢者虐待廃止指針を定め3カ月に1回身体拘束・虐待廃止委員会が中心となり、チェックシートを活用しながら取り組んでいる。		⑤. 充分にできている B. ほほできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている 2 B. ほほできている 3 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない 0	「成年後見制度」などの冊子を職員に配布しているが、活用されるまでには至っていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている 3 B. ほほできている 10 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	契約書及び重要事項説明書をもって説明し、質問や疑問、要望をお聞きし、その上で理解と納得をいただいている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている 2 B. ほほできている 10 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない 0	運営推進会議の文書開催時には、家族代表の方からのご意見をいただいている。通院報告時に電話で要望をお聞きしたり、利用料の受け取り時などに要望を伺うこともある。入居者とは普段の会話の中で意見や要望をお聞きしている。		A. 充分にできている B. ほほできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている 1 B. ほほできている 12 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	職員からの意見や提案を管理者を通して代表者に報告・相談し、改善できるものは早急に改善するように努めている。また、グループウェアのショートメールや閲覧板機能を利用して職員の意見等を聴取し、運営に反映できるようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている 1 B. ほほできている 9 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 0	管理者を通じて代表者へ状況報告するとともに、定期昇給を実施したり、休憩時間を確保にとれるようにするなど、職員が働きやすい職場環境の整備や必要な環境整備に努めている。「いって健康経営宣言」を登録し、職員の健康増進に努めている。		A. 充分にできている B. ほほできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	職員全員が、毎月の行事担当を持ち回りで担当することし、自主的に行事に取り組めるようにしている。また、資格取得のための受講料や受験料等を法人で負担したり、外部研修会への受講やオンラインによる研修を実施している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 7 D. ほとんどできていない 0	いわて地域密着型サービス協会等主催の研修会等に参加している。グループ内のグループホーム内での訪問を行い交流を図っている。		
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	料理や習わし、季節の行事など人生の先輩である入居者から知恵やアドバイスをいただいている。家事や作業などで教えられたり、支えられている部分が多々ある。入居者一人ひとりのできるところを見つけて家事を手伝っていただいている。		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 6 C. あまりできていない 7 D. ほとんどできていない 0	地元の美容院に訪問してもらったり、かかりつけ医もできるだけ以前からの医師に診てもらおうようにしたり、知り合いなどの交流できる機会を作るよう配慮している。	コロナ禍以来、家族以外の知人の来訪はなくなっている。地元の理容師が3カ月毎に来てくれて、新たな馴染みとなっている。また、かかりつけ医に通院する時、待合室で知人と会ったりしている。	
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 0	日常会話を通じて意向、希望を把握できるよう努めカンファレンスやグループセッションで周知、情報交換をし、サービスに反映させている。また、自分の意思を伝えるのが難しい入居者の場合は表情や仕草などから意向を汲み取るよう努めている。把握した情報は職員間で共有しサービスに反映させている。		

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている 3 ⑤. ほほできている 9 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない 0	日頃の入居者との会話の中や家族との面談の中で意向を話し合ったり、問題点や希望をカンファレンス時やグループセッションで把握し、介護計画に反映させるとともに、ケアプランに基づいてケアに取り組んでいる。	入居時には「施設に慣れるためのプラン」の作成に始まり、短期で3カ月、長期で6カ月の目安でプランを作成している。家族や本人の要望、主治医や訪問看護師からの情報を加味して見直しを行っている。入居者の状態に変化が生じた時にはその都度プランを見直している。	A. 十分にできている ⑤. ほほできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている 3 ⑤. ほほできている 12 C. あまりできていない 0 D. ほとんどできていない 0	個別記録をデータ化するとともに、グループセッションや日誌で日々の様子や気づきなど情報を「見える化」し、職員間での情報共有を図りながら支援している。		A. 十分にできている ⑤. ほほできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている 2 ⑤. ほほできている 12 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 0	入居者はもとより家族も入居者を取り巻く環境要因の重要な一つと考え、それぞれの状況の変化に対応して、入居者、家族の要望をお聞きし、管理者の判断やグループセッションの活用してのカンファレンスを通じてサービスの提供や変更を職員間で共有しながら行っている。	入居者や家族それぞれの状況の変化に応じて、入居者、家族の要望を聞き、その要望について「どうしたらできるか」を前提に、グループセッションを活用して職員の意見を聴取したり、管理者が判断して、柔軟な支援を行って来た。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている 2 ⑤. ほほできている 9 C. あまりできていない 4 D. ほとんどできていない 0	新型コロナウイルスの流行に伴い、婦人会や地域の皆さんとの交流は行われていないが、文化祭への参加は再開できた。巻き爪のひどい入居者には個別でフットケア(爪切り)専門の方を呼んで対応してもらった。	コロナ禍以来、地域の方の交流が行われていないが、地区の文化祭には出席したり、見学に行ったりしている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	⑥. 十分にできている 10 B. ほほできている 4 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 0	入居者の希望されるかかりつけ医を受診してもらっているが、かかりつけ医が変更になる際には入居者と家族が納得された上で変更している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	⑥. 十分にできている 9 B. ほほできている 6 C. あまりできていない 0 D. ほとんどできていない 0	協力医療機関として大東病院、千原病院と協議書を締結している。入院時には家族、医療機関と事業所間で情報交換に努め、入院時は薬の情報や生活の様子を伝え、退院時には看護サビリーの提供を依頼し、対応している。		⑥. 十分にできている B. ほほできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている 7 B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 0 D. ほとんどできていない 0	重度化指針を家族に配布するとともに、職員にも周知を図っている。想定される家族とは、重度化した場合や終末期のあり方について早い段階から事業所でできることを十分に説明し話し合っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 4 C. あまりできていない 9 D. ほとんどできていない 0	急変時に対応するマニュアルを整備し、緊急時に備えている。緊急時の救急車の要請や家族連絡の仕方を話し合い、職員で情報を共有している。		
25	災害対策	火災や地震、大雪等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている 3 B. ほぼできている 9 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない 0	総合訓練を年2回開催している。地域の消防団の防火点検も行われている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年度に業務継続計画(BOP)を作成し、非常食3日分の備蓄など進めている。総合訓練として年2回避難訓練を行い、1回は夜間を想定した訓練を行った。近隣者に防災協力員を依頼している。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている 2 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	個人情報保護に関する規程及び運営規程に基づき、人格を尊重し、不快な思いをさせないような声掛けを行うよう配慮している。また、入居者の声に耳を傾けるようにし、大きな声や命令口調にならないよう心掛け入居者の気持ちや誇りを傷つけないよう、不安な気持ちにさせないよう支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 4 D. ほとんどできていない 0	大まかな日課は決めているが、無理強いすることなく、一人ひとりのペースに合わせて生活できるよう支援している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 7 C. あまりできていない 6 D. ほとんどできていない 1	ご飯とみそ汁は、事業所で作り、お惣菜は宅配を利用している。季節の行事などは入居者と相談し一緒に作っている。また、麻痺のある入居者には、自助食器や滑り止めマット等を	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族アンケート結果で、食事の内容がわからないとの回答が多かったので、食事の内容をお知らせするようにしてはどうか。

			用いて自分で食べられるよう工夫している。		
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている 3 ⑤. ほぼできている 11 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 0	入居者の意向や家族、かかりつけ医、訪問看護師とも相談しながら、一人ひとりにあった食事量、食事形態の工夫をしている。食事量、水分量の摂取は記録し、十分な食事が摂れていない場合は補食を進めている。 食後のうがい、歯磨き、義歯の手入れの声掛けを行い、入居者ができるところは行っていたき、できないところの介助や仕上げを行っている。	
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている 7 ⑤. ほぼできている 7 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 0	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている 3 ⑤. ほぼできている 11 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 0	排泄チエック表を活用し、一人ひとりの排泄パターンを把握して、声掛けによる誘導を行うとともに、表情やしぐさから排泄のサインを読み取り誘導している。	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている 1 B. ほぼできている 5 ④. あまりできていない 8 D. ほとんどできていない 1	入浴日は決まっているが、その時々で柔軟に対応し、一人ひとりのタイミングで入浴ができるよう配慮し、入浴したくない時は翌日に入っていただくなどしている。時々入浴剤で温泉浴や柚子湯などを行っている。	
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている 5 ⑤. ほぼできている 7 C. あまりできていない 3 D. ほとんどできていない 0	ソファなど休みたいところで休めるようにしている。日中はレクリエーションや体操、散歩を行い、夜間の安眠を促すように取り組んでいる。	
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている 3 ⑤. ほぼできている 10 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	職員一人ひとりが入居者の服用している薬の説明書を読み、把握しており、緊急時に持ち出せるよう1冊のファイルで管理し、いつでも職員がみられるようにしている。薬が変更にな	

			つた時はグループセッションで全職員が把握できるようになっている。			
			入居者ごとに、できること、できないこと、好きなこと、嫌いなことがあるので、体調を見ながら、強制にならないよう、調理や片付け、洗濯物たたみなどの家事を担っていただいている。行事やドライブなどで気分転換が図られるよう支援している。	入居者の嗜好や関心毎に合わせて、家事を担ってもらったりしている。気分転換を図るため季節毎にドライブに出かけるなど行っている。		
35	役割、楽しみこと の支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている				
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望を聞いて、感染対策を講じながら、お花見や紅葉狩りなどのドライブに出かけ、季節の花や景色を眺めたりすることで、黄瀬宇を感じたり、気分転換になったりできるよう努めている。	季節毎にドライブで外出し、車窓から季節の花や景色を眺め、産直に寄ったりしている。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者がお金を所持することは禁じていないが、預かることはしていない。入居者の希望する買い物は家族に話し、立替で購入している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者の希望があれば、いつでも電話や手紙を出したり、外部からの電話や手紙を受け取ることができる。家族にうまく伝えられない入居者については面接時に伝えるようにしている。			
39	居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	室温、湿度に配慮しながら毎日清掃を行い、清潔を保っている。ソファやテーブルなど好きなところでくつろげるようにしている。テーブルや椅子もそれぞれ入居者に合わせて高さを調節したり、回転椅子や回転しない椅子を利用していただいている。季節の飾りや柚子湯を行ったり、手工芸品を飾ったり、落ち着いた空間作りに努めている。テラスや校庭の	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		

				散歩をしながら季節感を感じたり、気分転換を図れるよう心掛けている。			
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らしの方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 8 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 0	グループホームも高齢化、重度化し、自分の意向を伝えられない入居者が多くなっている。入居者の表情や行動などからも思いを汲み取るよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 10 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 1	入居時の情報や入居者、家族から話を聞きながら趣味活動や位牌のお茶の交換など自宅で行っていたことを継続して行えるよう支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている 3 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 1 D. ほとんどできていない 0	入居者の心身の状態の観察を行い、その方にとって最も良いケアが提供できるよう職員間で検討、情報の共有を行っている。体調の変化がある時は、かかりつけ医に報告の上指示をもらっている。			
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	食事や起床、就寝の時間は、ある程度決まっていますが、入居者の意向や体調などを考慮し、無理強いせず、その時々で柔軟に対応している。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている 4 B. ほぼできている 9 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	入居される時は、入居者が使い慣れた物、テレビ、位牌など希望される物は持参いただき、入居後も安心して生活していただけるような環境づくりに努めている。			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 0 C. あまりできていない 14 D. ほとんどできていない 0	入居者の意向をお聞きすることができていないが、面会制限の緩和に伴い、家族と買い物に出かけたり、自宅での家族の集まりに外出されることが増えてきた。	コロナ終結以来、面会制限の緩和に伴い、家族と出かけたり、家族に集まりに出かけることが増えてきた。		

46	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみことを行うことができる	A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 3 C. あまりできていない 10 D. ほとんどできていない 1	入居者のそれぞれのできることに合わせ、家事活動を行っていただいており、役割を持つことで、張り合いを感じられている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 5 C. あまりできていない 9 D. ほとんどできていない 0	自分から話をされない入居者にも、積極的に声掛けを行い、会話の機会を設けている。また、職員が間に入ることで入居者同士も新たな顔馴染みとして関係を築けている。			利用者が日々の暮らしの中でいきいきと過ごすようにするためにはどうすれば良いか。職員としても支援できていると感じられるような取り組みについて話し合ってみるのも良いのではないか。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる A. 十分にできている 1 B. ほぼできている 0 C. あまりできていない 5 D. ほとんどできていない 9	入居者の希望を伺い、地域の方々と交流することはできない。	入居者の希望を聞いて、地域の方々と交流することはできない。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる A. 十分にできている 2 B. ほぼできている 11 C. あまりできていない 2 D. ほとんどできていない 0	地域の方々との交流はあまりできていないが、グループホームで安心して生活していただけるよう丁寧で、優しい声掛けを心掛け、親しみを感じていただけるような雰囲気づくりをしている。	地域の方々との交流はできていない。本人は、職員の丁寧で、優しい声掛けや親しみを感じていただけるような雰囲気づくりにより、グループホームで安心して生活している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名： グループホームなかかわ
作成日： 令和 7 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなってしまうよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	家族アンケートの結果で、食事の内容がわからないとの回答が多かった。また、6年度から広報の発行を再開したが、行事の報告や日常生活を重点的に取り上げて来たものの、食事内容をお知らせして来なかった。	広報等を通じて、入居者の楽しみでもある食事についてお知らせするようにし、家族との情報の共有を図って行く。	①広報の特別な行事食だけではなく、普段の食事メニューを紹介するようにする。 ②コロナ禍以前のように敬老会に家族を呼び、会食してもらう。	6 か月
2	47	利用者が日々の暮らしの中でいきいきと過ごせるようにするためにどうすれば良いか。職員としても支援できていると感じられるような取り組みについて話し合う機会がなかった。	職員によるカンファレンスを開催し、利用者主体のケアの実践と介護職員としてのモチベーションの引上げを図る。	①グループセッションを活用した職員間の情報の収集を行う。 ②カンファレンスを年4回は開催する。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。